

政治資金残りあと

339,177円

情報公開の第一歩 政治資金を見えるようにします。

前回までの残高	460,065円
支出	
印刷代（月刊武松印刷代）	62,912円
交通費（駐車場、燃料代）	7,877円
宣伝広告費（選挙用備品、写真代）	68,985円
通信費（携帯電話、郵送費）	12,114円
収入	
寄付 A様、B様、C様、D様、匿名	31,000円
合計 03/1/6～03/2/1	－120,888円

市政を考える

月刊武松

発行日

03/2/3

第41号

読者拡大版

30000部発行

たけまつ

ただし

頒布責任者：武松 忠

武松政策研究会

私の街は大丈夫？

現役世代は多重負担！！自分の将来や子供たちにしわ寄せが・・・

■現役世代は多重負担！

現役世代は、これから本当に厳しいです。

- ・介護保険料を40歳から支払い続ける。
- ・公共事業費等の公債費（借金）の返済をする。
- ・年金の支給年齢が65歳からになる。
- ・退職金制度も破綻しつつある。

定年制が65歳になれば問題ないのですが、大企業を中心にむしろ早期退職を勧めています。

定年制が60歳のままで、かつ退職金制度が破綻していたら、5年間の収入は0です。1世帯当月20万円必要とすると5年間で1200万円の蓄えが必要となります。

高齢者施設は、いずれ全員が使うようになるのだから世代間で負担し合うのが当然のように言われています。しかし、少子化が進んでいますから、これで世代間の負担をするとすると、1人当りの負担はさらに大きくなります。

負担したくないのではありませんが、既にこの考え方は破綻しているのです。

■企業流出を食い止め、企業誘致策を！！

そこで、現役世代は何をしなければならないか？

子供を産んで人口を増やす！これは、簡単にはできませんし、個人のライフスタイルやプライバシーに関わることですから強制することはできません。

子育て支援策を充実させれば、子供を産むなんてことは幻想に過ぎません。またそれだけで、他自治体から、若い世代が転入してくることもありません。人が移動するというのは、進学、就職、転職、などが要因となって、職場や学校の近くで環境（生活便利・自然等）の良いところを選択するわけです。

環境面では、小田原は子育てをするには非常に恵まれた所だと思います。

あとは職場があるかということです。大規模製造工場が大規模店舗や研究開発拠点となって、人員当

りの賃金や従業員数が減っています。

そうした中でも新規事業に成功し、製造工場が手狭になって仕方なく市外に部分移転している企業もあります。

私は、市が**企業流出を食い止めることと、企業誘致**を行政の最大目標にすべきだと思います。

それが、現役世代の人口を増やし、結果的に団塊世代が高齢者になった時期を支えるだけの体力をつける事につながります。そしてこれから4年間のそのために、もっとも大切な時期だと思うのです。

■みんなで問題意識を持って行政をチェック！！

私は、できるだけ情報を発信します。市の将来をみんなで真剣に考え、備えておかなければ、**自分の将来や子供達にしわ寄せが来る**のです。

武松忠の政策

■本当に大切なのは情報の共有！

- ・これからも月刊武松を毎月発行します。
- ・情報公開を進め、市民が市政に参加しやすい環境を作ります。
- ・行政情報を共有し、問題点を明確にします。

■安心して住める街に！

- ・介護、育児支援の充実（予防対策）
- ・安心して子供達が遊べる環境整備（渋滞対策、空地の有効活用）
- ・公害データの公開と継続的な観測をします。
- ・企業流出を食い止め、誘致策を進めます。
- ・まちづくりや街並み整備のきっかけづくりと支援をします。

■税金を無駄使いしない！

- ・民間委託を積極的に進めます。
- ・既存施設の有効活用をします。
- ・事業評価を浸透させ、事業の目的と費用対効果を明らかにします。
- ・後年度負担を考慮し、過剰投資を防ぎます。

賛成反対多くの意見が寄せられました。「購入の明確な理由について説明責任を果たしてもらいたい！」

「購入に賛成」です。スパウザを単純に買ってしまえば、その後の**処理を「市」が選択できる**（決められる）と考えたからです。もし、買わない場合は、処理の選択権がないため、どうなってしまうか不安定な要素が大きいと感じたからです。市場価格に対して「安い」からこそですが・・・ここで見解が分かれそうです。僕自身、「安い」か「高い」かは分かりません。
30代 男性

目的と収支の2面から考える必要があると思います。目的としては、小田原市民にスパウザ小田原のような施設利用の機会が是非必要であり、購入以外の他の方法よりも使い勝手や金額などでメリットがあればいいかと思います。

収支の面では、運営費が収入でまかなえること、購入金額がそれほど長い期間ではなく消却できることが最低条件かと思われます。とにかく、**購入の明確な理由**と購入後の**ビジネスプラン**をよく検討する必要がありますね。
30代 男性

私はこう思います。8億で購入⇒第3セクターに売却 という運びではないでしょうか？ 市が直接経営する様には思えなかったのですが・・・。

（よって経営に対して大きな危惧はないのです）

市に**あれだけの施設の主導権を握るチャンス**があれば、一つの街づくりに役立てるべきではないかと思ひます。ほっておいて〇〇団体やろくでもないところに購入されたら、小田原駅のまん前にパチンコ屋や斎場ができてりするより悪い結果にはならないのだろうか？ また、市民はスパウザが今より安く利用できるのでは・・・？と楽しみにしていると思ひます。（私は楽しみです） 市に経営する力が無ければ、他（外）の力を借りてでも**市の活性化に役立てるべきではないか**と思ひます。
40代 男性

ビジネスとしての投資の基本原則は、先安のもの（低迷しているもの）から何を選ぶかではなく、先高のもの（発展性があるもの）から何を選ぶかです。まだまだ過剰といわれる箱物（施設）を抱えるのは如何なものかと思ひます。もちろん、**公共施設として、あるいは地域行政としてのビジョン**があるのでしたら話は別ですが・・・
30代 男性

最初は断ったということは、もともとは利用計画はなかったと思うのですが、それを、安くなったから買ったというのは、あまりにも・・・

ただ、このことについて市民には説明はないのでしょうか？ 8億という大金をつかうにすれば簡単すぎる決断に見えて仕方がありません。妥当な議論が行われたのであれば、それを市民にもわかるように説明してほしいものです。

また、購入後の維持費は採算が取れるものなのでしょうか？ 利用方法も決まっていないうちに採算が取れるとかどうかの話はできないでしょうか。いまいち、意外と税金って勝手に使われてるんだなという印象を受けてしまいます。**説明責任は果たしていただきたい**ものです。
20代 男性

平成10年3月の営業開始以来、平成14年度まで決算状況はどのような数値だったのでしょうか。聞くところによると営業成績は、かなり悪化しているとのことですが・・・貴兄のお説のとおり「市」の購入理由に一貫性がなく、かつ明確な営業方針もない状態では、小田原市が受け継いだとしてもマイナス要素が増大するだけだと思います。譲渡価格が安くなったからと言うだけで色気を示す「市」の**姿勢に大きな疑問を感じます**。現在の状況では、私も購入には反対です。
60代 男性

武松政策研究会 月例勉強会は4月まで中止します。

ホームページでは、日刊武松（日記）や、月刊武松のバックナンバー、一般質問の会議録も見ることができます。**YAHOO!**で「武松忠」または、「たけまつただし」と入力すると検索できます。

URL <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/>
i-mode <http://www6.airnet.ne.jp/takematu/i.htm/>

寄付は、
ジャパンネットバンク本店 普通口座 7941377 タケマツタダシ
さがみ信用金庫 伊勢ヶ丘出張所 普通口座 0051228
武松政策研究会 武松忠 まで

月刊武松は**本人が配布**しているため、行き届かないところがありますが、読み終わりましたら知合いの方にお渡しいただくと幸いです。また、送付先を連絡いただければ年1回郵送させていただきます。**eメールでも毎月送付**していますので、メールアドレスを連絡ください。（携帯メール不可）

市議会議員
たけまつ ただし

武松 忠

37歳

小八幡在住
妻と一男二女



小田原市立国府津小学校卒
小田原市立国府津中学校卒
神奈川県立西湘高等学校卒
東京職業訓練短期大学校電気課卒
（現 職業能力開発総合大学校東京校）
平成11年6月まで日本真空技術(株)
（現 (株)アルバック）勤務
平成11年5月より現職 1期目